http://www.jcp-ichikawa.com/
発行：日本共産党市川市議団議会報告
金子貞作市議の地域版
〒272-0805　市川市大野町3-116-2
TEL・FAX　３３７－６１８４
2018年11月11日　ＮＯ.292

貞作通信（ていさく）

「しっかり発言、きちんと報告します」　市政に関する、ご意見・要望をお聞かせください。メールアドレス
kyousankaneko@yahoo.co.jp

差別なくし認め合う社会

LGBT　性的マイノリティ

「自分らしく生きられる社会にしていくのが基本」村越市長答弁

金子議員は9月市議会の代表質問で、ＬＧＢＴ（性的マイノリティ）や、女性差別解消の市の取り組みについて質問。その質問・答弁要旨をお知らせします。

条例制定の考えはないか

（金子議員）自民党の杉田水脈（みお）衆院議員がＬＧＢＴカップルについて「『生産性』がない」などとする人権侵害の差別的な暴言を雑誌に寄稿した問題は、憲法が保障する人権や個人の尊厳を無視するとともに、少数者の排除につながる危険極まる考えです。

ＬＧＢＴについて本市の取り組み、当事者の相談窓口設置や、独自のパンフレットの作成、条例制定の考えについて伺います。

当事者から相談は一件もない

（総務部長）男女共同参画課の窓口等で対応しているが当事者からの相談は一件もなかったが、メールでパートナーシップに関する意見はあった。今後、当事者の生の声を聞いてどういった制度が必要か、検討していく。

「今後対応を考える」市長

（市長）自分らしく生きられる社会にしていくことが基本である。今後、対応を考えたい。

女性差別の解消を求める

（金子議員）日本の女性は、男性と比較して大きな格差と差別がある。女性差別解消に向けた本市の取り組みを問う。

「道半ばで十分ではない」

（総務部長）男女共同参画の推進を加速化させるために女性活躍推進法が制定されたが、道半ばで十分ではない。市民の意識において、性別役割分担の解消もすんでいない。

市の条例の見直しを

（金子議員）日本共産党は、働く女性への差別を是正し、均等待遇を実現する、子どもを産み育てながら、働きつづけられる社会的条件をつくる、女性の人権を尊重し、法律上の差別的な規定を見直し、是正する、あらゆる意思決定の場に女性の平等な参加を保障することを提案している。市川市男女共同参画社会基本条例には「男らしさ、女らしさを否定することなく」の文言がある。条例の見直しが必要と考える。

東海第２原発の運転延長ストップを求める請願　不採択

９月市議会で、市民から出された「東海第2原発の運転期間延長ストップを求める意見書の提出をお願いする請願」は、委員会では採択されましたが、本会議で賛成少数で不採択となりました。

日本原子力発電（原電）東海第２原発（茨城県東海村）が、再稼働を目指しています。もしも、福島原発のように、放射能を飛散させる過酷事故が起きたとき、千葉県内にも避難させる計画が浮上しています。最も安全な避難計画は原発を再稼働しないこと、再生可能エネルギーに転換することです。

安倍政治ＮＯ！市民と野党の共同で政治を変えよう　日本共産党

日本共産党
市議団

市長に2019年度予算要望書を提出

日本共産党市議団は10月16日、村越市長に対し、2019年度市川市予算要望の申し入れを行いました。

切実な要望を159項目

市議団は市内の各層・団体と懇談、市政アンケートの配布を行い、19年度の市川市政の取り組むべき課題と予算編成に関する要望を159項目にまとめました。

所得が増えず社会保障も削減される中市民生活において貧困が広がっています。「市政アンケート」の回答数が今年は1600通を超え、5割近くの人が生活が苦しくなったと回答しています。これ以上の負担には耐えられないという切実な声が多かったのも特徴です。

市長を支える日本共産党市議団もいっしょに頑張る決意を伝えました。

市長「検討する」と回答

村越市長は「要望書は大変ありがたい。検討させていただきます」と述べ、市政アンケートの意見欄にもよく目を通していました。

市長に予算要望書を渡し（上）、懇談する（右）日本共産党市川市議団。上左から金子貞作・清水みな子市議、村越市長、桜井雅人・廣田徳子・高坂進市議（10月16日市長室）

市政アンケートの回答意見から

・医療費が高騰し、年金を下げていけば高齢者の生活が成り立ちません（塩浜・70歳代・年金生活）

・お金の不安が多いから子どもを生むことをためらう。せめて医療費をゼロにして欲しい（20歳代・パート）

・保育の仕事は命を預かる責任の重い仕事です。今の給料の2倍払っても良いと思う。

・若者に信用される政府をつくる、信用される政治家となる。キチンとした大人とはこういう者だと手本を示す。そうすれば若者たち自身で考え行動する（60歳代）

・このような市政アンケートはとても大切だと思います。市民の小さな意見が届きます事を感謝します。（末広・40歳代・主婦）

共産主義になったらどんな変化が？

（10月28日JCPサポーターまつりで志位委員長が語った未来社会論）

「日本が共産主義の国になったらどのような変化があるのか」との質問に対し、「まずは、アメリカの言いなり、財界中心の政治のゆがみをただす、民主主義の変革が今の課題です」と指摘した志位さん。その先に共産主義社会を展望していることにふれ、「共産主義社会では、搾取がなくなり、社会の構成員がすべて働くようになる。浪費がなくなり生産力が発展する。労働時間が抜本的に短くなり、自由に使える時間が長くなる。人間の持っている潜在的な能力、例えば学者、アスリート、芸術家などの素質を持っていても資本主義のもとでは埋もれてしまう人が多い。すべての人間の自由な全面的な発展をめざす社会です」と話しました。

無料法律相談会

【相談日】　【担当弁護士】

11月13日（火）　白井幸男
午後2時から5時

【場　所】
仮本庁舎です。相談を受けたい方は事前の予約が必要です。党市議か市役所（電話334－1111）共産党控室へご連絡ください。

※生活相談は、毎日受け付けています。党市議に気軽に相談してください。

編集後記

▼朝夕、冷え込んできました。街路樹も色づき暦の上では冬です。党市議団が来年度の予算要望書を村越市長に渡し、今後の市政のあり方について意見交換するなど懇談しました。市長も「回答も型通りにならないようにしたい」と述べました。前市長では通りいっぺんの対応でしたが、今回は違いました。

お気軽に相談を
仕事 くらしの 悩み
メール：kyousankaneko@yahoo.co.jp
連絡先 金子貞作　337－6184（夜間）